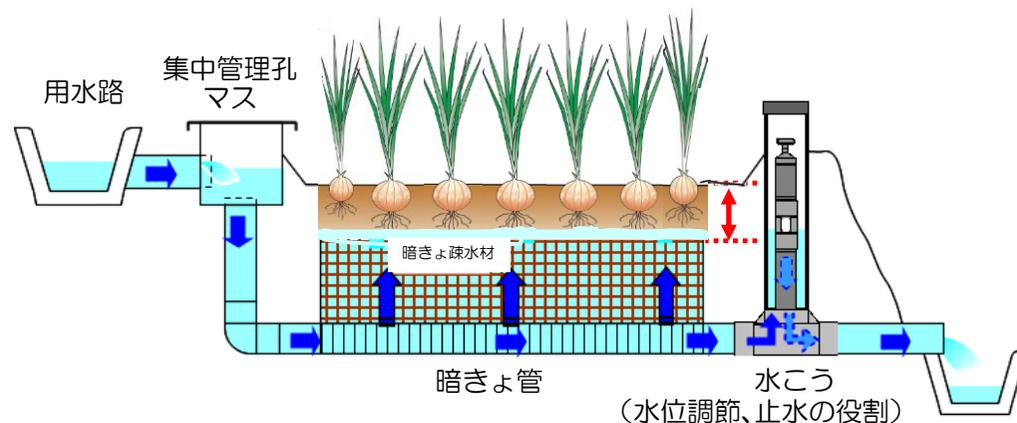


# 地下かんがいによるタマネギの安定生産技術

雨不足でも、タマネギの収量が安定する生産技術を開発しました。

## 背景

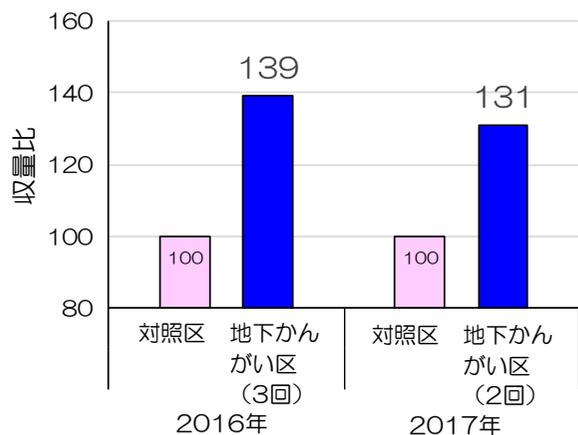
- ・タマネギは干ばつで土壌が乾燥すると、生育が抑制されます。干ばつには「かん水」が効果的です。
- ・水田地帯で導入が進んでいる「集中管理孔」を利用して、「地下かんがい」が実施できます。



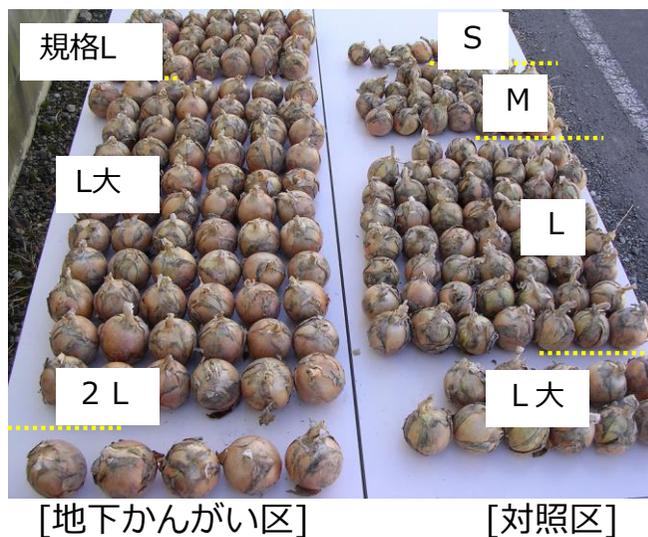
集中管理孔を利用した地下かんがいの仕組み

## 成果

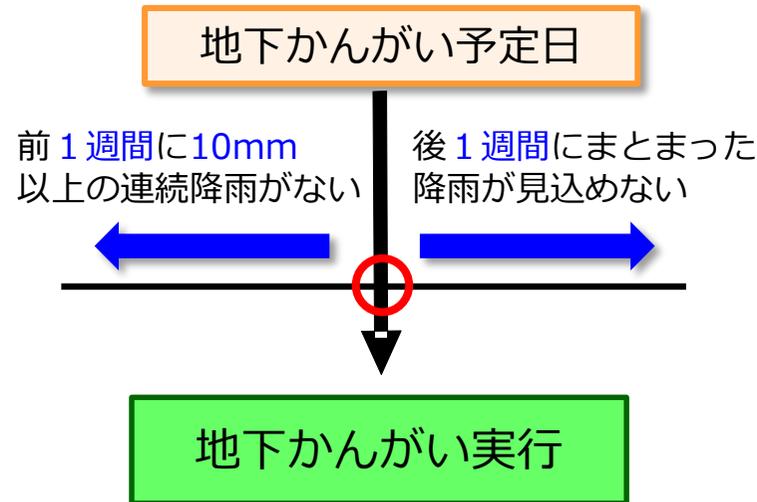
1 地下かんがいの実施により、タマネギの収量が高まりました



2 地下かんがいにより、高価格の「L大規格」が増加しました



3 タマネギに対する「地下かんがい判断手法」を作成しました



## 期待される効果

- 集中管理孔が整備される水田地帯で、タマネギの安定生産技術として活用できます。
- 集中管理孔は、全道約10,000haが整備済みで、今後も設置面積の増加が見込まれています。